

「相談事業担当者・相談事業管理職向け研修」

2022年度 実施報告書

特定非営利活動法人全国女性会館協議会御中
下記のとおり、報告いたします。

報告日 2023年 2月 28日

1 施設概要

施設名	名古屋市男女平等参画推進センター	
代表者名・職名	指定管理者 アイ・コニックグループ 代表 伊藤克恵	
住所	〒460-0015 名古屋市中区大井町7-25	
	電話 052-339-0332	FAX 052-339-0340
担当者名・職名	主担当 村瀬智子（相談担当主査）・吉本まゆみ（専門相談員）・山田友美（専門相談員）	
	E-mail t.murase.22@city.nagoya.lg.jp	

2 事業の概要

事業名	相談事業担当者・相談事業管理職向け研修
趣旨、ねらい	男女センターの相談システムや相談現場での困難を共有し解決に向けた知恵の共有を行うとともに、参加者同士のネットワークの構築を目指す。また、新たなツールを利用した相談についてパネルディスカッションを通してこれからの女性相談について共に考える機会とする。
対象者と定員	男女共同参画センターの相談事業担当者、相談事業管理職、行政の男女共同参画の担当者、相談機関で女性の相談に携わる人 定員：40名
実施日	2023年1月25日（水）・26日（木）
プログラム概要 全日程オンライン 実施 (講師について敬称略)	1日目：1月25日（水）13時～16時45分 【開会挨拶（当研修のねらい）】 （特非）全国女性会館協議会 常任理事 柴田美代子 【オリエンテーション】 担当：吉本まゆみ（専門相談員） グループワーク：参加者自己紹介、困難・課題・解決の話合い 【講義①】 男女共同参画センターにおける相談事業とは 講師：村瀬智子（名古屋市男女平等参画推進室 相談担当主査）

	<p>【講義②】 相談の実際（グループワークあり） 講師：景山ゆみ子（臨床心理士、公認心理士、元名古屋市男女平等参画推進室 相談担当主幹）</p> <p>【オンライン交流会】希望者のみ 17時～18時</p> <p>2日目：1月26日（木） 9時30分～16時20分 【1日目のふりかえり&情報交換】 進行：吉本まゆみ（専門相談員）</p> <p>【講義③】パネルディスカッション 男女共同参画センターにおける女性相談のこれから ～新たな相談ツールかの利用から見えるもの～ 講師（シンポジスト）： 邊見倫子（大阪市男女いきいき財団 企画調整課 リーダー） 菅原亜都子（札幌市男女共同参画センター 事業係長） 阪口さゆみ（世田谷区立男女共同参画センター 館長） 進行：村瀬智子（名古屋市男女平等参画推進室 相談担当主査）</p> <p>【講義④】 SNS 相談の実際 講師：札幌市男女共同参画センター 久世ののか 橋本彩加</p> <p>【リラックスするためのワーク】 担当：吉本まゆみ 桑真生（専門相談員）</p>
実参加者数	40名（当日参加を含む 別途、複数視聴者16名あり） <参考>参加申込者数 37名
アンケート結果の概要	アンケート集計結果は別添。
担当者所感	<p>担当者として全日程オンラインでの実施に初挑戦した。できれば対面の研修を実施したかったが、コロナの感染状況に左右されないということを優先した選択であった。オンラインは対面の良さを補えるものではないが、可能な限り交流できる時間を取るなど工夫を行った。北は青森から南は長崎まで全国から申し込みがあり遠方からの男女共同参画センターから参加しやすい、天候にも左右されない、同一のセンターから複数の参加が可能といったメリットは十分生かせたと思う。</p> <p>1日目は基礎的な内容とし2日目には今日的な課題でもあるSNSによる相談を取り上げ、さらにはこれからの女性相談についてシンポジストとともに考え、最後にリラックスワークで締めくくるという流れで構成した。シンポジウムでは「これから」というところまで十分深めきれなかったという反省はあるが、何とか無事に全日程を終了することができた。</p> <p>各センターの相談員の働き方、相談のシステムに違いがあり、それは男女センターの宿命でもあるが、参加者の中でそれらを客観視するとともに問題点を共有した時間でもあった。そして解決に結びつく「知恵」まで及ばなくても選択肢の一つになったり、励みになったりしたことがアンケートからうかがうことができ、企画した者として本当に力をもらった。</p> <p>コロナ禍で研修を断念してから2年。今だからこそ、オンラインという開催のあり方も含めて、ここまでできたのだと思う。講師や協議会をはじめ支えていただいた皆様に心から感謝したい。</p>